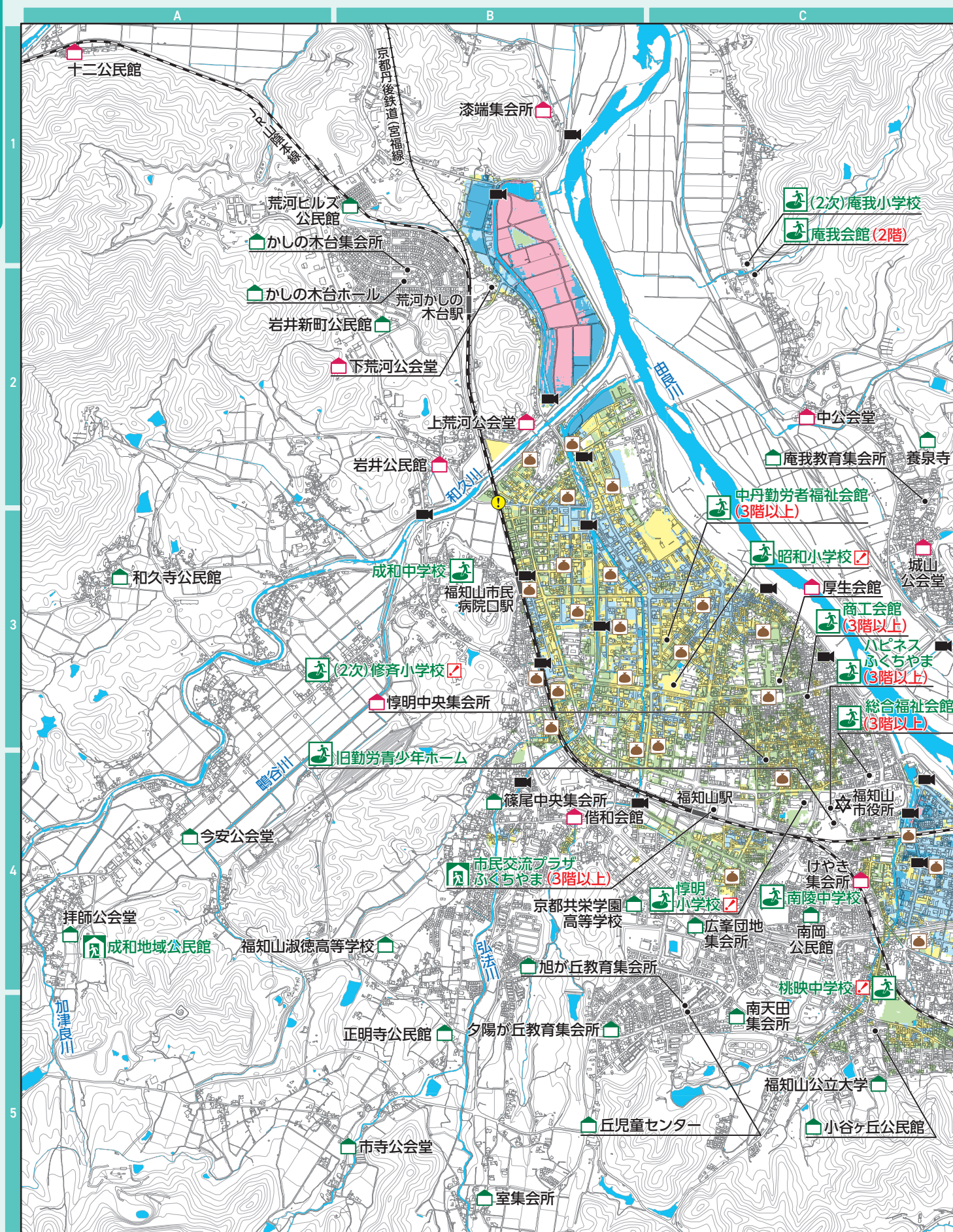
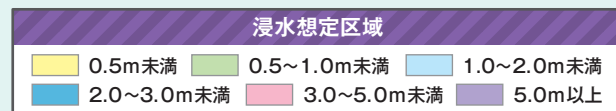


内水ハザードマップ



凡例

 広域避難所
  広域避難所兼指定避難所
  避難方法注意 (P81-82へ)
 
 地区避難所

 防災カメラ
  土のうステーション
  アンダーパス (地下通路)

75

内水ハザードマップに表示している浸水深は、平成26年8月豪雨時の家屋被害調査のデータ等を基に想定しています。また、由良川の氾濫は考慮していません。河川、下水道の整備状況や雨の降り方等によって、この地図に示した浸水範囲以外においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合がありますので、十分注意してください。

土のうステーション

1. 土のうステーションとは？

土のうを備蓄するための箱で、中に入っている土のう20kgで1基に50袋の土のうが入っており、市内の3所につき2基)に設置しています。浸水等の恐れがある土のうを使って、迅速に対応を行えば、浸水被害を最小にすることができます。



2.土のうを設置するタイミング・並べ方

🍷 設置するタイミング

取りに行く際は、軍手や汚れてもいい服装で取りに来てください。また、台風が接近したり、浸水が発生している時等は危険ですので作業はしないでください。

● 並べ方

道路に面した入り口等、道路から雨が流れ込みそうな場所に、土のうを平らにして隙間無く並べることが重要なポイントです。なお、土のうに防水シート等を被せることでより一層効果が高まります。

3. 市民の皆さんにお願いしたいこと

- 土のうステーションは、土のうを備蓄し初期対応等に活用していただくもので、これ以外の目的では使用しないでください。
- 土のうステーションに備蓄している土のうの数に限りがありますので、持ち出しについては、ご自宅1箇所当たり原則10個程度でお願いいたします。
- 持ち出した土のうについては責任を持って処分してください。
- 土のうを取り出した後は、ふたを開けてカバーをかけてください。



大雨時使用可

大雨時使用不可

大雨時使用不可の施設は、大雨時に洪水や土砂災害の危険性があります。
P81-84の一覧表により、使用できる災害種別を確認してください。

1:25,000

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）B 5JHs 367」

内水ハザードマップ

76